

まちを支える

～交通事故の発生を未然に防止する～

坂城町交通指導員

交通指導員は、交通事故発生の未然防止や町民のみならず、さまの交通安全意識の高揚のため、町長から委嘱されており、現在8名で活動しています。

具体的な活動としては、警察と連携して通学路の交差点などにおける街頭での交通安全啓発や小学校、保育園、幼稚園での交通安全教室での指導、交通安全市民大会での交通安全意識の普及・啓発活動、坂城どんどこんや元日マラソンなど各種イベントでの歩行者安全確保などの活動を行っています。

私が交通指導員になったきっかけは、当時勤めていた会社の社長の声かけにより交通安全活動をして

いた時、交通指導員の先輩から誘われ「少しでも町のためになれば」という思いからでした。

交通指導員全員が「交通事故のない坂城町にしたい」という思いを胸に活動しており、特に直接歩行者やドライバーと接する街頭指導には力



を入れていきます。地域の皆様に「ご苦労様」「ありがとう」などと声をかけていただくと、大変うれしく、やりがいを感じます。

交通安全は、一人一人の心がけが一番重要です。ご自身や大切なご家族のため、皆様のご協力をお願いします。

(会長 深井 洋一)

つれづれに

▼壬寅(みずのえとら)の年が始まった。過去の寅年の出来事を振り返ると、新しい発想の製品やサービスが生まれ、初めての出来事も多く起こっている。どれも「成長」や「始まり」を象徴した年である。

▼さて今年はどうと、生活に欠かせない某コンビニエンスストアが「全電力再エネ」「食品廃棄ゼロ」を目指す環境配慮型店舗を開くと発表。一方大手自動車メーカーは、脱炭素に向け「水素で走る燃料電池車(FCEV)」の大型トラックを秋には公道で試験走行し、30年には実用化を目指す。SDGsへ新たな「始まり」に期待が膨らむ。

▼今年はコロナ禍の生活が3年目となった。当たり前の日常が孤立と分断で覆われた日々。今こそ目の前の一人を思いやる心を大切に、希望溢れる一年としたい。(吉川まゆみ)

発行責任者 議長
議会報編集委員会

委員長 大森 茂彦
副委員長 山城 峻一
委員 吉川まゆみ
中島 新一
柁津 明子

小宮山定彦